

株式会社オクトサイエンス

2018年度 環境活動レポート

(対象期間:2018年8月～2019年7月)

発行日: 2019年9月4日

ごあいさつ

株式会社オクトサイエンスは創業以来、目に見えない環境の汚れを厳しくチェックする技術を育ててきました。

地球と人が調和し共存できる21世紀になるような機器、つまり環境にやさしい商品の提供を心がけ、なおかつ環境保護活動に努めることをお約束いたします。

I. 環境方針

当社は、環境測定機器の製造・販売を主とする事業活動において、電力消費・化石燃料・産業廃棄物の徹底的な削減により環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に環境への取組を推進します。併せて、環境経営システムの継続的改善を図っていきます。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進します。（電気、ガソリン）
3. 廃棄物排出量の削減及び廃棄物の再生利用を推進します。
4. 水道使用量の削減を推進します。
5. 環境に配慮した製品の製造及び販売を推進します。
6. 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日：2008年11月1日

改定日：2018年8月1日

代表取締役社長 植村 和人

II. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 オクトサイエンス
代表取締役社長 植村 和人

(2) 所在地

本 社(登記上) 大阪府吹田市千里山西6丁目32番30号
本社・伊丹事務所 兵庫県伊丹市東有岡3丁目73番3号
伊丹テクニカルセンター 兵庫県伊丹市東有岡3丁目13番9号

(3) 環境管理責任者及び担当者の氏名・連絡先

責任者・担当者 総務 本田 亜紀
TEL:072-743-9040
E-Mail: a-honda@oct-science.com

(4) 事業内容

大気、排ガス用サンプリング装置の開発、製造、販売

(5) 事業の規模

製品出荷額 9.5千万円(2018年度実績)
主要製品生産量 399台(2018年度実績)

	本社・伊丹事業所	伊丹テクニカルセンター	合 計
従業員	6名	(2)名	6名
延べ床面積	150㎡	42㎡	192㎡

※伊丹テクニカルセンターは作業時のみ

(6) 事業年度 8月～翌年7月

□認証・登録の対象範囲

登録組織名: 株式会社オクトサイエンス

対象事業所: 本社・伊丹事業所
伊丹テクニカルセンター

活動: 大気、排ガス用サンプリング装置の開発、製造、販売

対象外: なし

Ⅲ. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2015年度 (2015.8～ 2016.7)	2016年度 (2016.8～ 2017.7)	2017年度 (2017.8～ 2018.7)	2018年度 (2018.8～ 2019.7)
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	11,013	10,902	12,230	10,527
電力	kWh	7,945	8,920	9,301	9,378
ガソリン	L	3,313	3,090	3,593	2,846
廃棄物排出量	kg	142	234	223	200
一般廃棄物(可燃ゴミ)	kg	142	234	223	200
産業廃棄物	m ³	0	0	0	0
総排水量	m ³	67	41	49	45

Ⅳ. 環境目標及びその実績

(1) 目標

項目	年度	基準年 2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
Ⅰ. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	12,230	12,107	11,985	11,863
	対基準	—	99%	98%	97%
電力使用量削減	kWh	9,301	9,208	9,115	9,022
	kg-CO ₂ 対基準	3,888	3,849	3,810	3,771
ガソリン 使用量削減	L	3,593	3,557	3,521	3,485
	kg-CO ₂ 対基準	8,342	8,258	8,175	8,091
Ⅱ. 廃棄物排出量		223	221	219	216
	一般廃棄物 削減 対基準	223	221	219	216
産業廃棄物 削減	kg	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理
		(実績0kg)	0	0	0
Ⅲ. 水使用量 削減	m ³	49	49	48	48
	対基準	—	99%	98%	97%
Ⅳ. 製品への環境 配慮		1機種をモデル チェンジにより軽 量化	1機種(1製品)を モデルチェンジ	1機種(1製品)を モデルチェンジ	1機種(1製品)を モデルチェンジ

※ 電力の二酸化炭素排出係数は、関西電力(株)2017年実績の調整後排出係数0.418kg-CO₂/kWhを使用

※ 軽油使用量は微量のため二酸化炭素排出量に含めない

※ ガソリンの二酸化炭素排出係数は2.32166kg-CO₂/kWhを使用

(2)2018年度の実績

項目	年度	2018年度の実績 (2018年8月～2019年7月)				
		2017年度	目標	実績	達成度	評価
		基準年度				
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	12,230	12,107	10,527	115.0%	○
	対基準	-	99.0%	86.1%		
電力使用量削減	kWh	9,301	9,208	9,378		△
	kg-CO ₂	3,888	3,849	3,920	98%	
ガソリン 使用量削減	L	3,593	3,557	2,846		○
	対基準	8,342	8,258	6,607	125%	
		-	99%	79%		
II. 廃棄物排出量		223	221	200		
一般廃棄物 削減(可燃ゴミ)	kg	223	221	200	111%	○
	対基準		99%	90%		
産業廃棄物 削減	kg	適正処理	適正処理	適正処理	-	-
	対基準	(実績0kg)	-	(実績0kg)		
III. 水使用量削減	m	49	49	45	109%	○
	対基準		99%	92%		
IV. 製品への環境 配慮	対基準	1機種をモデルチェンジ により軽量化	1機種(1製品)を モデルチェンジ	1機種を大幅にモデル チェンジし軽量化	100%	○

注) 評価欄にて、○:達成(100%以上)、△:やや未達成(95～100%未満)、×:未達成(95%未満)

V. 環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の削減 (目標達成)		
・下記の通り。		下記の通り
電力使用量の削減 (目標やや未達成)		
・空調温度の適正化 (冷房28℃暖房20℃)	○	適正化のため意識はしているが、冷房は28℃では冷えにくく、26~27℃設定にしていることが多い。
・サーキュレーターを設置	◎	扇風機を併用している。
・不要照明の消灯	◎	不要な照明は一切点灯していない
・設備の空運転禁止	◎	エアコンは1時間以内の外出時はオフにせず、それ以上の場合のみ消している。それ以外の設備電源は使用時以外オフ。 今後も一層積極的な取り組みを実施する。
ガソリン使用量の削減 (目標達成)		
・不要なアイドリングストップ	◎	営業車2台共にアイドリングストップ機能が搭載。
・急加速・急停車の防止	◎	アクセル・ブレーキを意識して優しい運転を行っている。
・効率的な移動	◎	遠方へはできるかぎり公共の交通機関を使用している。 今後も一層積極的な取り組みを実施する。
一般廃棄物の削減 (目標達成)		
・分別の徹底	◎	可燃・不燃・リサイクル・産廃等細かく分類できている。
・来年度以降の目標設定		資源ゴミにできるものは廃棄しない。
産業廃棄物の適正処理 排出実績なし		
・素材ボックスの設置	◎	種類ごとのボックスで分別している。
・保管場所の掲示板を設置	◎	設置済み
・来年度以降の目標設定		引取り業者などを利用し、金属のリサイクルに努める
水道水使用量の削減 (目標達成)		
・節水の周知徹底	◎	各自が意識的に節水している
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	ポスターによる掲示のみ行っている
・清掃時・手洗い時の節水	◎	こまめに止水し出しっぱなしにしないよう心掛けている
製品への環境配慮 (目標達成)		
・RoHS指令配慮設計	—	事例なし
・来年度以降の目標設定	○	部品の共通化、モデルチェンジによる軽量化など

VI. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	○
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処理	○
消防法	消火設備・火災警報設備の点検整備	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。
(フロン排出抑制法について一部点検漏れがありました。現在是正しています。)
なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

VII. 代表者による全体の評価と見直し

新事務所での運営が軌道に乗ったため、新たに2017年度を基準年度とし目標値を設定しました。
前年の明確な実績と比較できるので、さらに取り組みがしやすくなったと感じます。
近年の猛暑の影響もあり電力量の削減が思うようにはいきませんが、目標値を大きく超過することのないように各自が意識的に取り組んでもらいたいと思います。

2019年8月28日
代表取締役 植村和人

VII. 環境活動の紹介



<エコアクション掲示板>



<節水>



<産廃ゴミ分別>



<印刷物削減喚起>



<エコドライブ>